

川口市マスコット着ぐるみ装着要領

ご使用前に必ずお読みください ～安全のために～

着ぐるみは電気製品を使用しているため、誤った使い方をしたときに感電や障害など人への危害、また火災などによる財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

- 必ず補助の方と一緒に行ってください。
- 着ぐるみを使用の際は、周りに人がいないか、障害物がないかなどをご確認ください。
- 着ぐるみを使用中、気分が悪くなったり体に不調を覚えた場合は、速やかに着ぐるみの使用を中止し、着ぐるみの外へ出るようにしてください。
- 送風機の稼働中は、送風機本体へ手を触れないでください。

破損したら使わない

着ぐるみ本体の送風機やバッテリーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気が付いたら、直ちに使用を中止し、広報課へご連絡ください。

使用中に異常が起きたら

変な音・においがする、煙が出た…などの異常が起きたら

- ① 電源を切る ② バッテリー外す ③ 広報課へ連絡する

【バッテリーについて】

バッテリーの稼働時間は1つ45分程度です。

出演時間は30分程度とし、バッテリー切れになる前に使用を終えてください。

【事前準備】

装着者1人、補助1人が必要です。

装着者は動きやすく肌を露出しない服装（長袖シャツ・長ズボン・靴下を着用）で準備します。

準備には30分程度余裕を持ってください。

装着する際は、清潔な場所で行うか清潔な敷物をご用意ください。

【手順①】 付属品をお確かめください。

キャリーケースを開けたら、付属品が揃っているか確認してください。



着ぐるみ本体×1



バッテリー×2（1つは予備用）



ヒューズボックスと送風機×1



バッテリー用ポーチ×1



ウレタンスティック×2



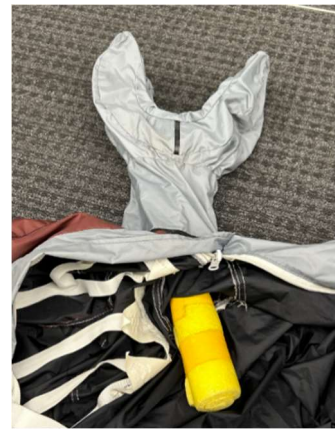
養生テープ×1

【手順②】 ウレタンスティックを差し込みます。

着ぐるみ本体の左右の腕部分に、ウレタンスティックを差し込みます。

二股の手のどちらでもよいので、奥まで差し込みます。

(装着時はウレタンスティックを持って、手を動かします。)



【手順③】 送風機を着ぐるみ本体へセットします。

着ぐるみ本体の右後ろ側に送風機をセットする場所があります。

内部からファスナーを開け、送風機の送風口が、袋のメッシュ部分に合うように、入れ込みます。

コードが出るように、ファスナーを閉めます。

送風機のセット完了です。



【手順④】 バッテリーをセットします。

バッテリーをポーチに入れ込みます。

この時、ポーチの右側に端子がくるようにします。

二股に分かれている送風機のコードの
赤色コードの先を赤い端子へ、
黒色コードの先を黒い端子へ差し込みます。

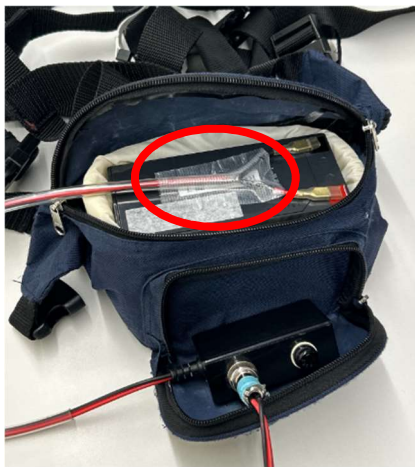


<注意> ・色を間違えないようにしてください。
・抜けないよう奥まで差し込んでください。

さらに動いている途中で抜けないよう、養生テープでコードを固定します。(重要)

ヒューズボックスは、ポーチの手前に入れ込み、コードが左側から出るようにファスナーを
閉めます。

バッテリーのセット完了です。



【手順⑤】 ポーチを装着します。

ポーチのショルダーベルトをそれぞれ1本ずつ両肩にかけます。

ウエスト部分のベルトのバックルを留めます。
胸部分のベルトのバックルも留めます。

体型に合わせてベルトの長さを調節して、
しっかりと体に固定してください。

※きつく締めすぎないように気を付けてください。



【手順⑥】 着ぐるみの中に入ります。

着ぐるみの足の部分に装着されているスリッパに足を入れ、マジックテープで固定します。

（靴を脱ぎ、靴下を履いて装着してください。）

両足を固定し、少し動いて緩みを確認して、テープでサイズを調整してください。

ポーチ、スリッパがしっかりと固定されているのを確認したら、着ぐるみを被って中に入ります。

※必ず補助の方がついて行ってください。



補助の人にファスナーを閉めてもらい、送風機のスイッチを入れます。
(外側からファスナーが見えないよう、カバー部分を覆い被せてください。)



スイッチを入れ、着ぐるみが膨らむと、前方に2本、後方に2本の白いベルトが確認できるので、装着しているショルダーの肩の前後にあるバックルとそれぞれ留めます。

※この工程は着ぐるみ内部で行うものです。

着ぐるみの中に入ってある程度膨らんでから行うようにしてください。



着ぐるみ装着の完成です！

※約3分程度で完全に着ぐるみが立ち上がります。

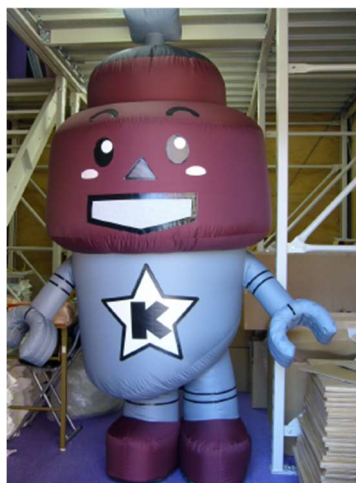
立ち上がった後、手足や体を動かして、ポーチやスリッパなどに違和感がないか確かめてください。

緩みや違和感があったら、再度やり直してください。

＜注意＞エア漏れを防ぐため、ファスナーが完全に閉まっているかご確認ください。

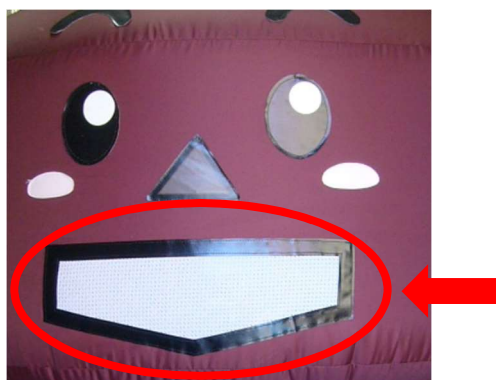
着ぐるみを膨らませている間、送風機の吸引口をふさいでしまうと、中に空気が送られなくなりますので、吸引口をふさがないように注意してください。

手はウレタンスティックを持って動かしてください。



口がメッシュになっていて、外が見えるようになっています。

※メッシュ部分からの視界はありますが、安全に運営を行うため、補助の方が1人同行し、着ぐるみを誘導するようお願いします。



【手順⑦】 着ぐるみを脱ぎます。

着ぐるみを脱ぐ時も、必ず補助の方と一緒に行ってください。

送風機のスイッチを切ったら、補助の方にファスナーを開けてもらいます。

（ファスナーのスライダーは両側についているので、中から開け閉めすることもできます。）

着ぐるみを装着した時と逆の手順でスリッパ、ポーチを取り外してください。

装着時の注意

- 着ぐるみ運搬及び装着の一切は、使用者の責任において行ってください。
- 装着者は、可能な限り身長 150cm～180cm のかたとしてください。
- 着ぐるみを破損しないよう細心の注意をもって取り扱ってください。
- 雨天時及び降雪時は、絶対に屋外使用しないでください。
- 着脱しているところを関係者以外に目撃されないようにしてください。
特に子どもの前では厳禁。
- 長袖シャツ・長ズボン・靴下を着用した上で着ぐるみを装着してください。
- 声を発しないでください。（関係者との連絡等のため、やむを得ず声を出す必要がある場合には、関係者以外に聞こえないよう細心の注意を払うこと）
- 必ず補助者をつけ、着ぐるみだけで単独行動しないでください。
- 足元に小さい子どもがいるとき、ぶつかって転倒してしまう可能性があるため、急に体の向きを変えないようにしてください。引っ張ったり体当たりする子どももいるので、補助者は優しくたしなめるなど気を配ってください。
- 炎天下で活動する等、厳しい環境での使用の際はこまめに水分補給をしてください。
- 夏場使用する際は、熱中症への対策を十分にとった上で使用し、気温によっては、使用の中止も検討してください。

着ぐるみの使用を終えたら

- 送風機とヒューズボックスや、バッテリーの接続は必ず取り外して、戻してください。
- 全ての付属品に破損等の異変がないか確認してください。
- 着ぐるみ本体は、きつく絞ったタオルで汗や汚れ等をよく拭き取り、消臭剤を噴霧するとともに、裏返し、風通しのよいところで干して良く乾かしてから、キャリーケースへ収納してください。
- 着ぐるみを保管する際は、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。
- 運搬の最中に備品が破損しないよう、キャリーケースの中の備品は必ず緩衝材に包んで収納してください。